

背景 1

ユーザーの困り事



- 宅配ボックスが、すぐ満杯になってしまう。
- ゴルフバッグなどの大きい荷物が入らないことがある。
- 荷物が重いと、部屋まで運ぶのが大変。
- 業者を装った犯罪の報道を聞いて、受け取りが怖い。
- 受け取りのためだけに化粧したりするのが面倒。
- 1人で待っていると、近くのコンビニやトイレに行けないなど、行動が制限される。

背景 2

宅配業者の困り事



- ネット通販市場の拡大で配達量が増えている。
- 宅配ボックスに入りきらず再配達ということも増えており人材の有効利用が阻害されている。
- 同じ住戸宛なら同じボックスに追加して入れたい。
- 1つのマンションで複数の配達がある場合は呼び出しやセキュリティ解除が煩雑。もっと効率良く届けたい。

3つの異業種による相乗効果

三菱地所レジデンス

フルタイムシステム

サービス対応宅配会社

日本郵便

ヤマト運輸

SAGAWA

利用者の声を集めるとともに、宅配業者にも複数回にわたりヒアリングし、両方にメリットが得られる解決策を模索

集合住宅における

「各住戸玄関前宅配ボックス」を利用した

新しい宅配システム



各住戸玄関前宅配ボックス全戸分(100%)設置

- ※通常は共用エントランス付近に全世帯数の15%程度
- ゴルフバッグや食配サービスに対応した可変棚付き大型サイズ
- 追加納品可能

セキュリティ性を担保

- 指定業者制導入
- ICカードシステムを活用した入館履歴や開錠履歴管理
- 入館時間の制限

運用ルールの取り決め

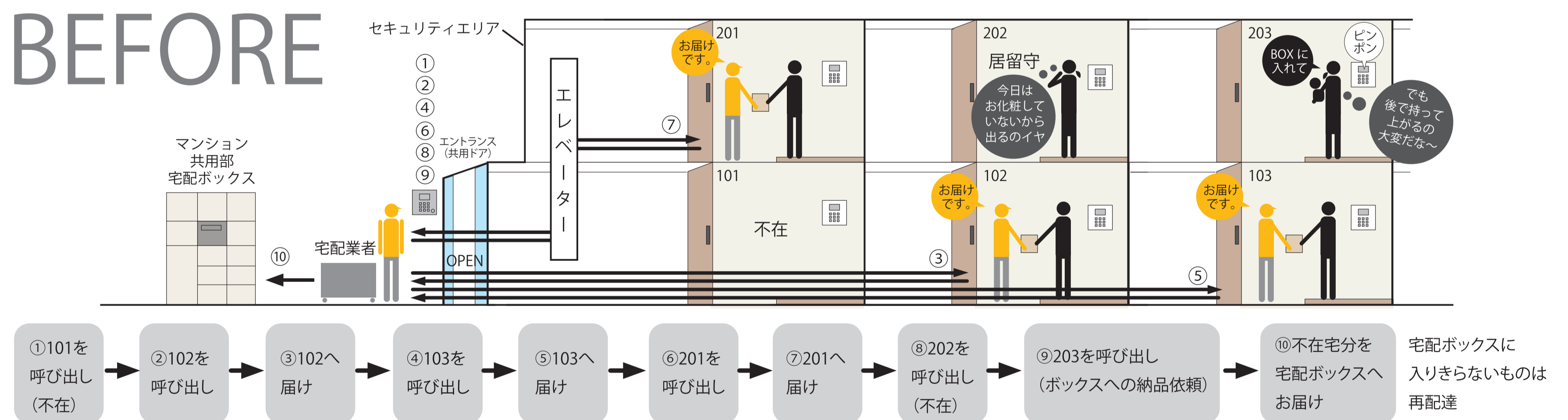
- 各住戸の玄関前カメラ付きインターホンで呼び出し
- メールと配達伝票による配達完了通知
- WEBページでの開錠履歴閲覧
- 入居時に事前周知

※指定外業者のために共用エントランス付近にも宅配ボックスを設置

配達効率の違い。

システム導入前と後での

BEFORE



AFTER

